

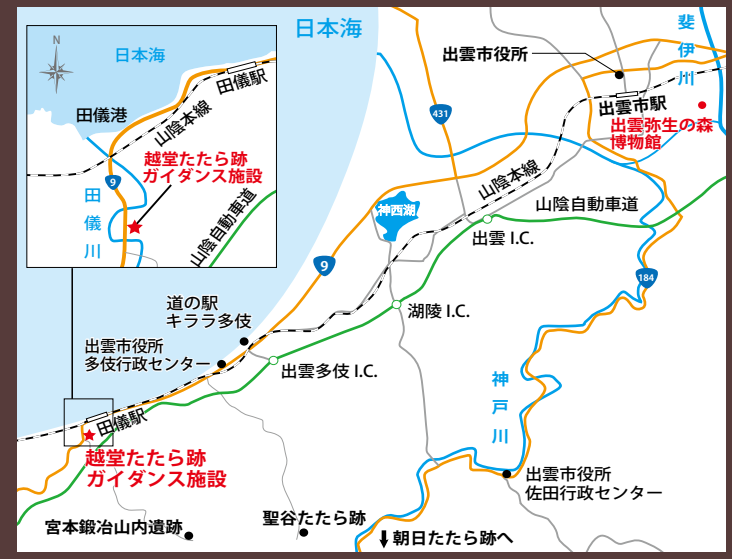
# 越堂たたら跡ガイダンス施設

国史跡 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡

## 田儀櫻井家たたら製鉄遺跡



### 案内マップ



### アクセス

**東京・大阪方面から**  
 【自家用車】 中国道→落合JCT→米子道→米子JCT→山陰道→出雲多伎IC【約10分】  
 【JR】 東海道・山陽新幹線→岡山駅→伯備線「やくも」→出雲市駅→田儀駅【徒歩約20分】  
 【空路】 羽田・伊丹空港→JAL→出雲空港→空港連絡バス→出雲市駅→田儀駅【徒歩約20分】

**九州・広島方面から**  
 【自家用車】 中国道→尾道松江道→山陰道→出雲多伎IC【約10分】  
 【JR】 山陽新幹線→岡山駅→伯備線「やくも」→出雲市駅→田儀駅【徒歩約20分】  
 【空路】 福岡空港→JAL→出雲空港→空港連絡バス→出雲市駅→田儀駅【徒歩約20分】

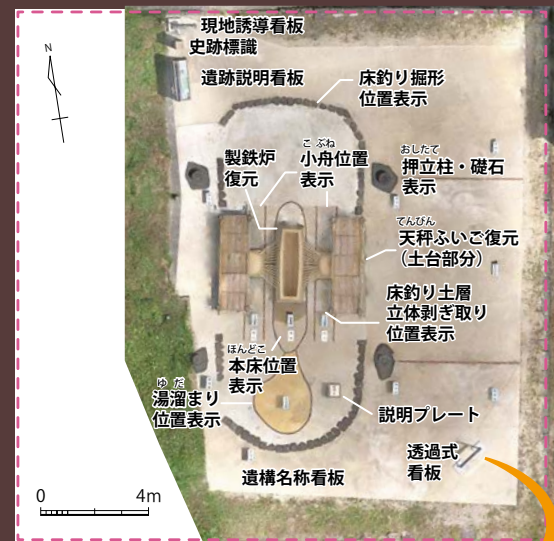
**施設案内** 所在地 島根県出雲市多伎町口田儀 898 番地  
 開館時間 9:00 ~ 17:00  
 閉館日 年末年始 (12/29 ~ 1/3)

**出雲市文化財課** 〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760 番地 (出雲弥生の森博物館)  
 Tel: 0853-21-6893 Fax: 0853-21-6617  
<https://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori> 令和6年(2024)3月発行

## 越堂たたら跡と関連文化財



### 越堂たたら跡の現地整備



現地でたたら操作の様子をのぞいてみよう!

色々な役割の人が操業に携わっていたんだね

たたら場の副技師長 天秤ふいごを踏む人 炭を炉に入れる人 たたら場の技師長

## 越堂たたらとは

越堂たたらは、田儀櫻井家が江戸時代中期（1769年頃）から明治時代初期（1882年頃）まで操業した「海のたたら」です。

田儀港に近い越堂たたらは、港の廻船を利用して製鉄の原材料（砂鉄・木炭）を各地から調達し、生産した鉄素材（銑鉄）を全国に出荷しました。また越堂たたらは、山と海のたたらを同時に経営した田儀櫻井家の中心的たたら場として、幕末から明治時代初年には出雲国でも一二を争うほどに栄えた田儀櫻井家の製鉄経営を支えました。

ガイダンス施設では、史跡である越堂たたら跡の調査成果を中心に、他の史跡の概要や田儀櫻井家のたたら製鉄経営の特色などを紹介し、田儀櫻井家のたたら製鉄を総合的に学べる展示を行っています。

## 高殿内部・床釣り模型展示



越堂たたら跡の発掘調査で分かった高殿や製鉄炉地下構造の床釣りの様子が模型になっているよ。  
調査していない床釣りの底面は地中レーダー探査で推定できたんだ。

## 床釣り土層立体剥ぎ取り展示



越堂たたら跡の床釣りには地下の湿気を地上に逃がす息抜き穴に土管が使われていたんだ。  
幕末から明治時代初期以降に普及した土管が息抜き穴に使われた事例はほとんどなく、当時の最新技術の床釣りなんだ。

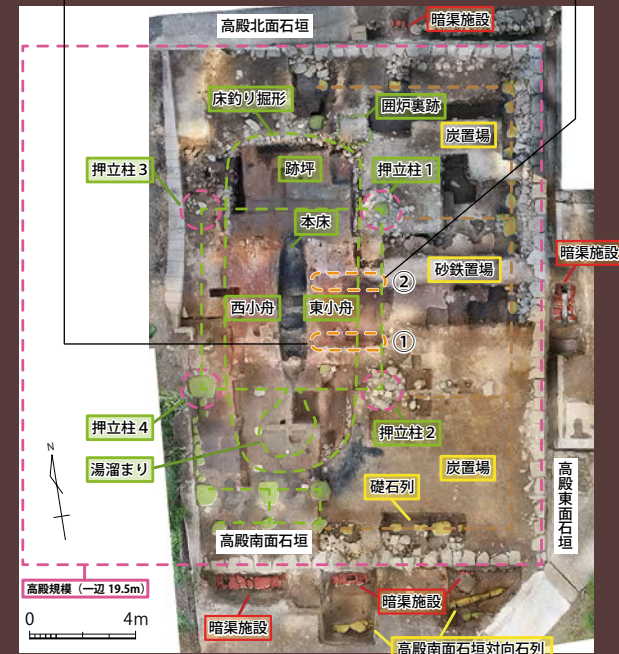
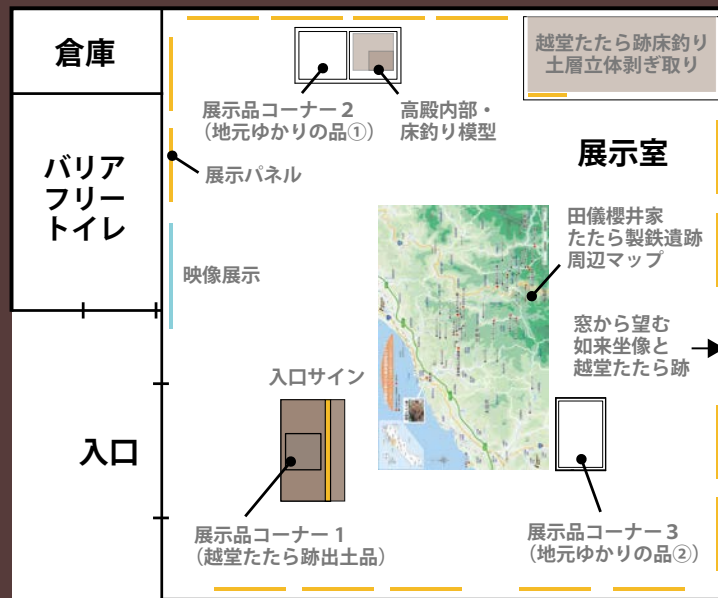
## 発掘調査の成果



## 越堂たたら山内



## 館内案内



- 凡例
- 越堂たたら操業1期（田儀櫻井家経営以前）：17世紀末～18世紀中頃
  - 越堂たたら操業2期（田儀櫻井家経営以前～前半期）：18世紀中頃～19世紀初頭
  - 越堂たたら操業3・4期（田儀櫻井家経営後半期）：19世紀初頭～19世紀後半